

2019年10月1日(火)発行 【季刊誌(年4回)発行】



発行部署 : 陸運事業本部 企画部  
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号  
電話番号 : 03-5408-4600  
発行責任者 : 白土 雄二郎  
お問合せ窓口 : 石山 義裕

秋号

(No.140)

[目次]

1. MCLC 小集団活動全社大会 開催
2. 荷役作業と付帯業務の実績を乗務記録に記載することが義務化
3. 国交省・経産省 トラック隊列走行実現に向けた取り組み
4. MCLC ファシリテーション研修 実施
5. MCLC 場所紹介 ～東日本エリア営業部 平塚営業所(神奈川県平塚市)～
6. ロジスティクスソリューションフェア 講演会聴講レポート
7. 2019年度後半 物流関連展示会のご紹介

## 1. MCLC 小集団活動全社大会 開催

小集団活動全社大会を、7月19日に三菱ケミカル社平塚工場CSセンターにて開催いたしました。1982年にスタートした本活動も今年で35回目を迎え、今年は初参加の長浜支社を含む全社130サークルが参加しました。当日はその中から選ばれた8サークルによる発表が行われ、会社幹部、本社・支社関係者など、多数の聴講者が聞き入る中で各サークル共に職場が一体となって問題を解決した成果を披露しました。

8サークルの中から、下記3サークルが優秀賞に選出され、そのうち黒崎支社と四日市支社の2サークルは11月21日に開催される「三菱ケミカルグループ小集団活動発表会(Cブロック)」に当社代表として出場いたします。

当社では、「働き方改革」に関する取り組みを推進していますが、それらの課題解決の手段として、小集団活動も活用しています。また、小集団活動は、業務の効率化や改善だけでなく、従業員にとって働き甲斐のある会社の実現と公私共に心身が健康であることを目指した活動としても位置付けられており、今後も積極的に活動を行って参ります。



### 優秀賞 (部署・テーマ)

- 黒崎支社 ■  
営業部陸運1課  
ローリー配車板モニター化
- 四日市支社 ■  
生産物流部3課  
iPhoneでKAITEKI包材管理
- 水島支社 ■  
営業部陸運2課  
受付点呼業務改善

\*テーマは要旨のみ記載

## 2. 荷役作業と付帯業務の実績を乗務記録に記載することが義務化

トラック運送業界では、ドライバーの長時間労働の是正が課題となっています。その一因として、長時間の荷役作業の発生に加え、荷主との契約に定めがない付帯作業などの発生により規定の運行計画が崩れることが指摘されています。その結果、ドライバー拘束時間に関する基準を超過する状況を招き、コンプライアンスを順守した運行が妨げられるケースも発生しています。

こうした状況を踏まえ、「貨物自動車運送事業輸送安全規則」が改正されました（5月10日公布、6月15日施行）。この改正により、総重量8トン以上または最大積載量5トン以上の



【本改正にかかわる乗務記録の対象作業と記載内容】

対象作業		記載事項
積込み	取り卸し	集貨地点等(名称)
荷造り	仕分け	荷役作業等の開始・終了時刻
検収・検品		荷役作業等の内容
横持ち	棚入れ	これら荷役作業等について荷主の確認が得られたか否か
ラベル貼り	等	等

※荷主との契約書に、実施した荷役作業等が全て明記されている場合は、荷役作業などに要した時間の合計が1時間以上となったケースが記載対象

トラックに乗務した際に、集荷・配達地点などで荷役作業などを実施した場合、その作業内容を乗務記録へ記載することが義務化されました。（なお、「荷待ち」に関しては2017年からすでに記載が義務化されています）

荷役作業などに関する実態が明らかになることで、トラック事業者と荷主が協力してドライバーの長時間労働改善への取組みを加速させることが期待されています。

## 3. 国土交通省・経済産業省 トラック隊列走行実現に向けた取組み

国土交通省と経済産業省では、高速道路でのトラック隊列走行について、2022年度の商業化に向け様々な取組みを行っています。その中で、2020年度には新東名高速道路での後続車無人での隊列走行を実現することが目標となっています。それに向けて今年度予定されている実証実験について概要をご紹介します。

### 【実証実験の概要】

- ◆後続車無人システム(\*1)による 2～3台の隊列走行  
時速70～80kmで車間距離約10mまたは約20mの車群を組んで走行
- ◆後続車有人システム(\*2)による 4台の隊列走行  
時速70～80kmで車間距離約35mの車群を組んで走行



上記実験は安全確保の観点から、全ての車両（後続車含む）にテストコースで経験を積んだドライバーが乗車し、新東名高速道路の浜松いなさIC～長泉沼津IC間で実施される予定です。これらの実証実験を通じて、開発中の後続車無人システムなどの実現に向けて必要となる機能が設計通り作動することの確認、その信頼性向上と長期データ蓄積を行うと共に、トラック隊列が周辺走行車両の乗員からどのように認識されるか（被視認性、印象など）、トラック隊列が周辺走行車両の挙動（追い越しなど）に及ぼす影響などを確認します。



\*1：ドライバーによる手動運転を行う先頭車の後方に1台または複数台の無人のトラックを短車間距離で電子的に連結して走行するシステム（電子的な連結とは車両間を通信などにより接続するもので物理的な連結は存在しない）

\*2：ドライバーによる手動運転を行う先頭車の後方に1台または複数台の有人のトラックが協調型車間距離維持支援システムや車線維持支援システムなどにより運転支援されるシステム

## 4. MCLC ファシリテーション研修 実施

当社は「働き方改革」の一環として、会議の効率化を検討し、必要性の再考、頻度・時間や資料の見直しなどを行ってきました。一方で、質の向上も必要との認識から、ファシリテーションスキル(\*)の向上を目的とした「ファシリテーション研修」を実施しました。

3月から開始した当研修には、全社より選抜された15名の社員が参加し、外部講師の講習を受けました。

研修の狙いは「会議でメンバーの議論から新しいアイデアを引出すことができる」だけでなく「会議の場において課題解決ができる」レベルを目指しました。参加者はディスカッションを通して広くアイデアを引き出し、イノベティブな課題解決方法を導く“会議ファシリテーションスキル(チームディスカッションスキル)”を身につけながら、同時に効率的・効果的な会議運営の手法を学びました。

各プログラムを通じて活発なディスカッションが行われ、大変有意義な研修となりました。

今後も仕事の生産性を高め、活力ある会社づくりを目指した活動を行って参ります。

\*ファシリテーションスキル：ものごとがスムーズに進んでいくように調整する能力

【研修内容】

アジェンダ	概要
チームディスカッション技術の紹介	・ディスカッションプロセスとツールについて ・ファシリテータの役割と技術について ・ファシリテーションデモ
ワークショップ	5名/チーム×3チームで実際のチームディスカッションを疑似体験 例：働き方改革の取り組みを加速する手段として有効だと考えられるもの(TOP3)

【研修の様子】



## 5. MCLC場所紹介 ～東日本エリア営業部 平塚支店(神奈川県平塚市)～

東日本エリア営業部 平塚支店は、三菱ケミカル社平塚工場内に事務所を構えています。立地はJR平塚駅から平塚市総合公園の前を北へ向かうとすぐの場所です。総勢28名で日々頑張っています。

平塚市総合公園には「Shonan BMWスタジアム平塚」がありますが、知る人ぞ知る？知らない？Jリーグ湘南ベルマーレの本拠地です。平塚工場はスタジアムのすぐ近くのため、ホームゲームがある日は、声援が工場まで届き、否が応でも盛り上がります。湘南ベルマーレが勝利すると花火が上がり、きれいです。

ご当地平塚市の名物は...？シラスです！あの白い小さな魚です。湘南海岸でとれる平塚のシラスは、生でも食べることができます。生シラスは小さく透明で、とれたてはポン酢で食べると稀に動きまわります(筆者主観)。平塚にお立ち寄りの際には一度ご賞味ください。



【七夕まつりの大型飾り】

また、平塚といえば、七夕です！平塚の七夕まつりは、日本一といわれる七夕飾りの豪華さが特徴で、10mを超える大型飾りや、流行を取り入れた飾り、カラクリ飾りなどもあります。

そんな七夕飾りにあやかっ、平塚支店のメンバーは一人ひとり、小さな吹き流しの飾りですが、全員一丸となって、人を笑顔にする大きくて立派な七夕飾りになることを目指しています。私たち”MCLC平塚支店飾り(=メンバー)”をよろしくお願いいたします。m(\_)\_m



【シラス2色丼】



【生シラス】

## 6. ロジスティクスソリューションフェア 講演会聴講レポート

8月27～28日、東京ビッグサイトで開催された「ロジスティクスソリューションフェア2019」の特別企画「ロジスティクスカンファレンス2019」の講演を聴講しました。「東京2020大会(\*)への対応と持続可能な物流の構築を目指して」をテーマに、2つの講演がありました。一つは、東京都から東京2020大会と企業活動の両立に向けての取組み内容、もう一つは食品メーカーから東京2020大会の物流と人流に関する取組み内容について、それぞれ紹介がありました。

大会期間中の課題としては、交通規制による道路の混雑、鉄道においても日常利用者に加えて大会関係者や観客などが利用するために出勤や営業の移動などにも影響が大きいことが挙げられています。「人」の流れについては、テレワークや時差出勤、休暇の計画的な取得などの取組み紹介がありましたが、企業は具体的な対応についてはまだ決めかねているのが実情のようです。

大会開催まであと1年となり、交通対策テストなどのニュースを時々耳にしますが、一番気になることは私たちの日常生活にどのくらい影響が出るのか、ではないかと思いました。

東京都の東京オリンピック・パラリンピック準備局のHPに開催準備に関する情報がありますので、今後も継続して情報に注目していきます。

\*東京2020大会：2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会



## 7. 2019年度後半 物流関連展示会のご紹介

本年度後半も物流関連の展示会が数多く開催予定です。下表で一部ご紹介します。特に、関西では初の物流専門展示会となる「関西物流展」に注目したいですね。商談だけでなく、最新の物流技術の動向チェックとしても、参加されてみてはいかがでしょうか。

開始日	終了日	展示会名称	会場
10月1日	10月2日	2019・ITV次世代ビークル展	幕張メッセ（千葉）
10月9日	10月11日	IOT Japan2019（全7展）	東京ビッグサイト（東京）
10月23日	10月25日	Japan IT Week【秋】（全13展）	幕張メッセ（千葉）
10月24日	11月4日	東京モーターショー	東京ビッグサイト（東京）
10月29日	11月1日	JAPAN PACK 2019 日本包装産業展	幕張メッセ（千葉）
11月27日	11月29日	関西物流展（初開催）	インテックス大阪（大阪）
1月15日	1月17日	オートモティブワールド（全7展）	東京ビッグサイト（東京）
1月29日	1月31日	Japan IT Week【関西】（全8展）	インテックス大阪（大阪）
2月12日	2月14日	スマート工場EXPO（全3展）	東京ビッグサイト（東京）

※詳細は各展示会の公式HPをご覧ください

### 編集後記

早いもので10月になり、過ごしやすい気候になりましたね。時折、肌寒く感じることもあります。（この原稿を書いているのが残暑厳しい日で、ほぼ願望ベース！？です）

秋といえば、私は「読書の秋」です。夏休み用に何冊もの本を買いつつ、夏の暑さに負けて（？）、というよりも高校野球などのテレビ観戦で、読書が捗りませんでした。この秋の夜長に読書を楽しみたいです。といつつ、9月20日からの日本開催の「ラグビーワールドカップ2019」に熱狂、これまた熱い秋となりそうです。

さて、今号も2020年を1つのマイルストーンとした「物流の姿、働き方」が模索されるような内容でお届けしています。是非、ご覧ください。（h.s）